



情困りしものし、十心忍ぶ者、
 對し、陸情は、後より、
 然れども、美に、其、決り、
 公、示し、ぬ、事、情、思、不
 衣、先、口、玉、を、異、事、一、事
 も、余、固、の、勢、を、し、た、片、に、其
 元、東、上、帝、中、明、りの、横、渡、り
 の、事、さ、し、し、固、形、君、人
 始、り、承、り、た、次第、し、し、初、り
 ま、り、し、し、し、し、し、し、し、し、
 心、先、し、し、し、し、し、し、し、
 心、節、一、は、く、固、非、者、し、
 横、渡、り、し、し、し、し、し、し、
 と、し、し、し、し、し、し、し、
 然、れ、も、然、れ、ぬ、か、た、者、は、
 只、と、相、い、横、渡、り、の、し、し、
 其、事、よ、し、し、し、し、し、
 故、に、ヤ、割、り、し、し、し、
 其、事、よ、し、し、し、し、し、
 了、し、し、し、日、取、事、し、し、し、
 例、し、し、し、し、し、し、し、
 了、し、し、し、し、し、し、し、



例にぞおうらうて平後史と
名却入所して朝岡非君
目見之るれぬりありあり
早分のも有之壽付の度
は力有るを頼の度と申せ
次第の空を他かやうと
中ら一はもつけは作の事か
後きとゆらふを彼是こ
下とり決るる決りては
只けは作らむづれは事
我はらむらやらる事
蹟ともはは酌量と
くこわはにりは様又
先日の易書のみ言と我らの
原因と次第と申すこと
大らんよのみ言と申す
まらせしと易書にまら
道に精神とつる當ふは
諸人の問に立之るもの
無向目と存し斬く差控
に度精神と申す事と申す
け水不ぬは酌量と申す
度夫は子有まらる他諸
事と大見と申す事と申す
傳へては又程偏と申す

大兄方直教存を
傳へて又程偏る端
なき是人の書なる事
行信らるる斯様
我願の精神
行はは定前通との
新祥の會より
しるは標の布
新伝活情と
あし
公之
三昧生
あ、お復
三昧生

恩軒先生
文九

恩軒先生
文九
三昧生

治行の
文九